

日本語には組み方向によって二つのゆるやかな正書法がある

一九八一年から二十年後の二〇〇一年十一月

一九九五年から一七年後の二〇一二年

サイタマラップパー3は4月14日公開

和文組の基本はベタ組みである

ベタ組みとは

字間ゼロで文字を並べること
字送りを文字サイズと同じ寸法にして並べること

字間均等ケ組み

字間均等ツメ組み

1行は何文字入っているか、どの行でも同じか、ちがうところはなぜちがうか考えてみよう

自分の持っている本の文字サイズと字送り、行送りを測ってみよう

紙の寸法 (単位はmm)

A列	B列
841×594	1030×728
594×420	728×515
420×297	515×364
297×210	364×257
210×148	257×182
148×105	182×128
105×74	128×91
74×52	91×64

単位 ミリメートル、 齒(級)、ポイント

$$1H=0.25mm$$

齒(級)

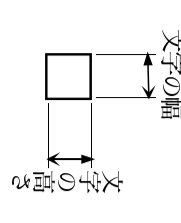
$$1pt.=0.3528mm$$

ポイント

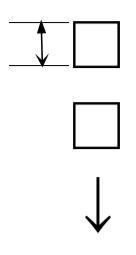
組版算の基本 行長の計算

$$行長 = 字送り \times (文字数 - 1) + 字幅$$

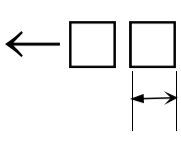
$$行長 = 字幅 \times 文字数 + 字間 \times (文字数 - 1)$$



横組みでの「字幅」



縦組みでの「字幅」



ベタ組み
神戸芸工大は、学園都市にある。そこに

字間均等ケ組み
神戸芸工大は、学園都市にある。

字間均等ツメ組み
神戸芸工大は、学園都市にある。そこに

組み方によるちがいが、文字クラスのちがいにによる調整値を見分けよう。

調整に使うことができるものと調整に使えないもの

一枚一枚では弱くはかなげな紙を重ねて書物として手にすることによって
人びとは世界を知り続け、交通を駆け、世界を改造してきました。

文字のないデザインはありません。
組版は文字を排列する技芸であり、デザインの基礎です。

日本語の文字の並び方にはどのような「規則」や「習慣」にたがっているのでしょうか。

歴史のなかでつみあげられてきた「規則」や「習慣」から、基本となる考え方を学び
まじょう。